

	課題：児童の実態・学習状況、指導の実態	改善プラン：課題改善の方針・具体的手立て
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見や考えを小集団で表現することはできるが、全体の場面で表現できる児童が少ない。 ○文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力や、文章を図表などと結び付けて必要な情報を見付ける力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆継続的に話し合い活動を取り入れ、対話の機会を増やす。 ☆考えたくなる動機付けを大切にされた指導の充実を図る。 ☆新しい文章に触れる機会を増やすとともに、新聞記事等の要旨をまとめる活動等を設定する場面を増やす。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童が歴史的事象に興味・関心をもって学習しているが、知識の定着に個人差が見られる。 ○調べる学習活動は、主に学習用端末を使って意欲的に取り組むことができる。資料を読み取る力・読み取ったことをもとに自分の言葉で表現する力、前の時代との比較した気付きに課題がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆導入や資料の提示の仕方を工夫し、興味・関心を高める。問題解決的な学習展開を取り入れ、すすんで学習に取り組めるようにしていく。 ☆資料を読み取る技能を、段階的に確認しながら指導し、高めていく。同時に資料から読み取った内容を、年表や人物画像を活用して学習用端末でまとめる方法についても指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○理解が深まっている児童と、基礎・基本の定着に課題がある児童と差がみられる。 ○問題文を理解し正確に読み取る力が弱い児童が多い。特に、数量関係を適切に理解することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆習熟度別での授業の取り組みの中で、さらに学びが深まるように、基本・発展・統合的な課題を提示したり、発問を工夫したりしていく。 ☆東京ベーシック・ドリルや復習プリント等を活用し、学習内容の定着を図る。特に、計算力の向上を目指し、既習の計算を繰り返し取り組むようにする。 ☆問題場面を図や数直線に表すなど、学習課題や数量関係を正確に捉えられるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○実験・観察等の学習には興味をもって取り組むことができる。 ○実験・観察した結果をもとに、考察しようとする姿勢が多く見られる。 ○日常の経験から予想を立てたり、結果から分かることを考察したり、文章にまとめたりする力を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆実験・観察等の学習に対して、予想・考察の立て方、ノートの取り方を指導し、次時の課題につなげていく。 ☆視覚的な教材も利用し、さらに児童がイメージをもてるような指導をしていく。 ☆プリントなどを活用し、学習内容を反復して確実に定着できるようにしていく。 ☆班活動を基本とし、意見交換しやすい環境を整えることで、多様な意見に触れることと、自信をもって意見を発表することができるように指導する。 ☆ねらいに関する学習用語を確認し、自分の言葉でまとめられるように指導していく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○演奏技術には、個人差が見られる。 ○生き生きと表現することのできる児童もいるが、表現に対して自信をもてない児童もいる。 ○可能な限りより多くの人たちに自分たちの音楽を聴いてもらう場を設定し、表現力の向上を目指している。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習用端末の手本動画を活用したり、楽譜の難易度を複数準備したりし、個人差に対応していく。 ☆褒め合う場面を増やし、安心して表現できる雰囲気をつくる。 ☆互いの演奏を聴き合い、良さや改善点を共有できるようにする。また、発表の場を設けることにより、音楽の楽しさや達成感を味わわせていく。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○全体指導の理解に個人差があり、学習に必要な内容を理解できるよう、配慮が必要である。 ○自分の表したいことを見つけることや、どのように表すかについて考える力を伸ばすことを目指している。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆板書、書画カメラ、学習用端末などを活用し、視覚的に理解したり、後から確認したりできるよう配慮する。個別に声をかけ、支援する。 ☆試しながらつくることのできる題材や繰り返しやってみることのできる題材を計画的に設定する。ワークシートや学習用端末などを活用し、自分の思いや考えを確認したり深めたりできるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲や活動の進め方に個人差があり、グループでの学習では活動量の差ができてしまうことがあった。 ○学習した内容を自分の生活に取り入れ、工夫して生活しようとする意欲に個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆グループ活動に際して、話し合いをもとに個々の目標を立てさせ、また互いに評価し合えるようにする。 ☆工夫して快適な生活ができるように、生活を振り返ることを取り入れ学習した内容を継続的に取り組めるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○自分に合っためあてを立てて学習に取り組んだり、振り返って学んだことを改善しようとしたりすることに個人差が見られる。 ○みんなが楽しく運動に取り組むためのルールや作戦の工夫についての話し合いに積極的に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分の中での気付きや、友達の動きを見て見つけたコツ等を共有したり記録したりする機会を大切にする。また、学習用端末を活用して映像を撮ることで、授業後にも自らの動きを振り返らせる機会を作る。 ☆明確なめあてをもって活動に取り組んだり、自分自身の取り組みを振り返ったりできるように、具体的な視点を提示する。 ☆クラスの実態に合わせてルールや作戦のモデルを提示し、児童がルールや作戦を工夫できるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをもつことはできるが、それを伝え合う力には個人差が見られる。 ○議論しながら内容項目に迫ることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆座席の配置やグループなどで対話の形態を工夫し、対話しやすい環境を作る。 ☆自分の意見を持ち、今後の実生活に活かせるように対話活動を充実させるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に主体的に取り組んだり、質問に対して、すぐに答えて、コミュニケーションを楽しめたりする児童が多い。 ○全体的にリスニングはよくできているが、既習事項を用いて、相手を意識して、自分の思いを伝えていくことへの個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆様々な活動から無理なく参加できる状況を見極める。単元最後の活動のゴールを示し見通しをもたせたり、話したくなるようなトピックを設定したりする。 ☆学習用端末を活用し、自分のことを表現しやすくできるようにする。またどのように発音するか何度も確認できるように学習用端末で音声も付けてカードを配布する。どのようにしたら、相手に伝わりやすいか常に確認していく。

